



敬愛

校長 稲葉 高広

〒183-0027 府中市本町4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

「個」から始まり、「小集団」へ、「全体」へ、そして再び「個」へと

校長 稲葉 高広

運動会は、単に競技の勝敗を競う行事ではありません。一人一人の成長を学校全体の力へとつなぎ、その高まりを再び一人一人へと還元していく、大切な教育活動です。

その営みは、「個」から「小集団」へ、「全体」へ、そして再び「個」へと循環していきます。

5月30日（土）に実施した本校の運動会では、練習や準備の段階から当日に至るまで、生徒たちの真剣な姿が数多く見られました。競技の結果のみならず、一人一人が自らの役割に向き合い、仲間と力を合わせて行事を創り上げていく過程そのものに、大きな教育的価値があったと捉えています。

まず、出発点となるのは「個」です。仲間のために何ができるかを考え、自ら行動しようとする姿勢は、学校生活のあらゆる場面の基盤となるものです。当日は、自らの競技や任された係活動に責任をもち、主体的に取り組む姿が随所に見られました。友達のために自分にできることを考え、進んで行動しようとするその姿は、自主性や責任感の着実な育ちを示しています。こうした一人一人の前向きな取組が、運動会を支える確かな土台となるとともに、「個」としての成長を促していました。

次に、その一人一人の努力は、学級や係、競技チームといった「小集団」の力へと結実していきます。互いに声をかけ合い、励まし合い、支え合う中で連帯感は一層深まりました。共通の目標に向かって心を合わせる経験は、学級活動や委員会活動にも生きる、大変貴重な学びとなったことでしょう。

さらに、小集団で培われた力は、学年の枠を超えて学校全体へと広がりました。特に、3年生は最上級生として、競技や係活動、応援など様々な場面で下級生を導き、学校全体を支える存在として大きな役割を果たしました。1・2年生もその姿に学びながら互いに応援し合い、望ましい異学年との関わりを深めることができました。生徒と教職員が心を一つにして行事を創り上げた経験は、学校全体の一体感を高め、よりよい校風を築く確かな基盤となります。

そして、この「全体」の高まりは、再び「個」の成長へと還元されていきます。生徒は、自らの努力が仲間や学校全体につながることを実感し、自信や達成感、さらには自己有用感を獲得します。その実感は、日々の授業や委員会活動、部活動などにおいても、「自ら関わる」「仲間と協力する」「集団のために責任を果たす」といった具体的な行動として表れてくるものです。

アメリカのフットボールコーチのヴィンセント・T・ロンバルディは、「集団の成功は、個人の献身によって支えられる」と述べています。本校の運動会においても、一人一人の努力が学級や学年、そして学校全体へと広がり、その成果が再び一人一人の成長へとつながるといふ、意義深い循環が確かに見られました。

今後も、運動会で培われた自主性、協働する力、責任感、そして互いを認め支え合う姿勢を日常の学校生活に生かしながら、よりよい校風の醸成に努めてまいります。



各分掌より



生活支援部

体育着登校について

本校では、「学校生活は標準服で送る」という原則がありますが、熱中症対策として、例年6月1日～10月31日の期間に「体育着登校」（半袖・短パン）を認めています。

あくまで熱中症対策の一環なので、登校する際に「少し肌寒いから、半袖・短パンの上に長袖ジャージを着用して登校する」のではなく、その場合は「標準服を着用する」ようにしてください。標準服には、半袖のワイシャツやポロシャツ等も含まれています。

詳細は、年度当初にお配りした「学校生活のきまり」の冊子でご確認ください。

本校では、体調管理の観点と両立させながら「TPOに合わせた行動を考えること」等の力を育てていきたいと考えております。保護者の皆様にもご理解いただき、学校と家庭の連携を進める中でお子様に伝えていただければ幸いです。

経営支援部

生徒用タブレット端末の使用について（お願い）

本校では、生徒一人一人の学びを支えるツールとして、タブレット端末を活用しています。日常的に使用中でいくつかのトラブルが見られることから、改めて使用上の注意点についてご確認をお願いいたします。

まず、タブレット端末は構造上、強い圧力に弱いため、本体の上に教科書やかばんなどの重い物を載せると液晶画面が破損する恐れがあります。持ち運びや保管の際には、上に物を重ねないように十分注意するよう、ご家庭でもお声かけをお願いいたします。

また、機器の安定した動作のため、次の点の徹底をお願いいたします。

- ① 学校から帰宅する前に、必ず電源を切ること
- ② ご家庭で使用した後も、必ず電源を切ること

電源を切らずにスリープ状態のまま持ち運んだり、使用する場所（ネットワーク環境）を変えたりした場合に、不具合や動作に不安定さが生じることがあります。よって、場所を変えて使用する際には、必要に応じて再起動を行うことが大切です。

学校におきましても、適切に指導してまいります。ご家庭におかれましても、安全かつ円滑に活用できるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

教務部

進路説明会について

6月20日(土)、2時間目に第1回進路説明会を体育室で行う予定です。

第3学年の生徒と、全学年の保護者対象となっています。

また、3時間目は修学旅行保護者説明会です。

ご多用とは存じますが、ご出席くださいますようお願いいたします。

定期考査について

定期考査1日目と2日目は、給食無しの午前授業となります。

また、定期考査の1週間前から部活動は原則停止となります。

学習進路部

総合的な学習の時間についての取り組み

第1学年では、5月15日(金)・16日(土)に実施した「ふれあい自然教室」の事後学習を進めました。あわせて、運動会のクラス目標を決めたり、学年種目の「台風の目」や「全員リレー」に向けて作戦を立てるなどの活動に取り組みました。

第2学年は、2学期に実施される職場体験に向けて、ハローワークから講師を招き、職業意識についてのレディネステストを行いました。職場体験先については、現在、府中市内の他校と連携を取りながら調整しているところです。

第3学年は、修学旅行に向け、学年スローガンを決めたり、見学場所の事前学習を進めています。

進路指導

6月20日(土)に、第1回進路説明会を実施いたします。

1・2年生の保護者の方もご参加いただけます。

参加希望の方は、案内通知(今後配付)に掲載する2次元コードからお申し込みください。



私の「心に残ったあの一言」

No. 86

「ベンチも立派なコートだ」

主幹教諭 中村 健太郎

高校2年の春、高校総体（インターハイ）予選。スターティングメンバーとしてコートに立った。試合は逆転に逆転を重ねるシーソーゲームだった。私は、試合の最後の最後にディフェンスの中で左足首を激しく捻挫した。ゲームクロックは止まらず、そのまま流れ、その数秒後にゲーム終了のブザーが鳴った。チームは勝利し、ベンチではその喜びに沸き立っていた。私は、倒れた場所から動けず、試合後の整列にも並べないほどだった。そのまま、病院に搬送された。診断は全治2か月。

翌週は、強豪との対戦だった。この試合を勝ち切ると、公立ながら関東大会へと駒を進められる大一番だった。前半、相手の勢いに押され、チームは選手もベンチも暗い雰囲気だった。自分はといえば、コートの外からチームがやられていく姿をただ見ているしかなく、自分の不甲斐なさや悔しさで、ハーフタイムには控室で人目をはばからず泣いた。そんな私に、キャプテンの先輩がそっとタオルを差し出し、こう言葉をかけた。「試合に出られないからって、戦っていないと思うな。ベンチから声を出すお前も、立派にコートの一員だ。全員で勝つぞ」その一言は、絶望していた私の心を強く奮い立たせた。ケガをした自分はもうチームの荷物でしかないと思い込んでいたが、ベンチからできる役割がまだ残されているのだと気付かされた。それからの私は、声が枯れるまで味方を鼓舞し、相手の動きを分析してベンチから指示を送り続けた。チームは、後半、息を吹き返したが、残念ながら、大きな壁を打ち破ることはできなかった。

それでもあの時の言葉は、今も私の胸に深く刻まれている。

社会人になった今も、思うように成果が出ず裏方に回る時期がある。しかしそんな時こそ、あの言葉を思い出す。どこにいても、どんな状況でも、自分にできる最善を尽くすことの大切さを、あの悔しい試合から教わった。

三中生の活躍

(敬称略)



女子テニス部

「東京都中学校テニス選手権大会予選 第9ブロック」

女子シングルス 2年 常世田 麗美 (都大会出場決定)

女子ダブルス 3年 芹川 美月 2年 常世田 麗美 (ベスト8 都大会出場決定)

陸上競技部

「第77回東京都中学校地域別陸上競技大会」

男子東部共通 800m 「第1位」 3年 吉野 和紀 2分03秒38

1500m 「第3位」 2年 守屋 侑 9分17秒70

三中生ってすごい！

5月16日(土)に、近隣の方から三中生に感謝を伝えたいと以下のようなお話をいただきました。

夕方16:00頃、南町三丁目付近で転んで手が汚れて困っていた幼児に対して、三中の部活帰りと思われる男子生徒が、ポケットティッシュを差し出して、面倒をみてくれたそうです。「その時は、ちゃんとお礼が言えなかったのが…」と地域の方がわざわざ電話をかけてきてくれて教えてくれました。困っている人に対してスッと優しくできる行為は、なかなかできることではありません。素晴らしいですね！